

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

三菱マテリアル インドネシア関連子会社の拡張完工

12月14日、グレスック製錬所で拡張工事完了式典 インドネシア PTS社の銅精鉱処理量30%増強へ 2024年初めから本格的な増産体制スタート

インドネシアでの 銅精鉱処理能力拡張

三菱マテリアル株式会社の連結子会社であるインドネシア・カパー・スメルティング社(PT.Smelting、以下「PTS」)は、同社グレスック製錬所(インドネシア 東ジャワ州グレスック県)において、銅精鉱の処理能力拡張を進めていたが、当初の予定通り年内に拡張を完工し、2024年初めから本格的な増産体制に移行する。



グレスック製錬所 拡張完工セレモニー

グレスック製錬所で 拡張完工セレモニー



12月14日(木)にPTS社グレスック製錬所において拡張工事完了を記念してセレモニーが執り行われ、インドネシ

アのジョコ・ウィドド大統領をはじめとする多数の来賓が出席した。

2024年初めから 銅精鉱処理量 30%増強へ

今回の拡張工事完了に伴い、グレスック製錬所における銅精鉱処理量および電気銅生産能力は、年間銅精鉱処理量1.3百万dmt(現行1.0百万dmt)、年間電気銅生産能力342千mt(現行300千mt)に増強される。

PT.Smelting(PTS)社 グレスック製錬所

PTS社のグレスック製錬所は、三菱マテリアルが特許を有する連続製錬プロセスである「三菱連続製銅法」を用いた、日本国外の銅製錬所の一つ。

三菱マテリアルは、インドネシアで最初の銅製錬プロジェクトであるPTS社に1990年代より参画してきた。

今回の増産体制移行後も、インドネシアの銅のサプライチェーンにおいて重要な役割を担うPTS社の操業を引き

続き支援していく。

三菱マテリアルグループは、「人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する」ことをグループの目指す姿と定めている。

三菱マテリアルグループは、これからも銅製錬所の持つ役割を最大限活かし、目指す姿の実現に取り組んでいく。

■写真左ツーショット

左：三菱マテリアル 執行役社長 小野直樹氏/右：Freeport-McMoRan Inc. Richard C.Adkerson氏
(※資料提供：三菱マテリアル)



新たに導入したアノードの回転鑄造機



新硫酸プラント全景